

週刊 読書人

毎週金曜日発行
定価 495円
本体 450円

株式会社 読書人 発行
東京都千代田区神田神保町
1-3-5
郵便番号101-0051
電話 03(5244)5975(代)
FAX 03(5244)5976
振替口座 00150-9-57070
購読料50週20000円
https://jinnet.dokushoin.com/
© 株式会社読書人2023

もうと本が
読みたくなる。



お祝い、お礼・お返しに

www.toshocard.com

日本図書普及科 03(3267)2311(株)

小出裕章氏に聞く(聞き手 佐藤嘉幸)

《汚染水》問題について考える

管理できている放射能汚染水を意図的に海に流すことは犯罪である

れるでしょうか。

小出 ます確認したいのですが、国と東京電力は今、福島原発に溜まっている一三〇万トンを超える水を「ALPS処理水」と「処理途上水」の二つに分けています。このうち「処理途上水」は全体の約七割を占めており、文字通りまだ処理が終わっていない、れっきとした「放射能汚染水」です。

それを日本ではマスコミが率先して「処理水」と呼んできました。本来なら国がマスコミの暴走をいさめるべきでしたが、国はむしろマスコミの暴走を許してきました。そのうえ、「汚染水」と正しく呼んだ野村農林水産大臣をマスコミと

国、それに野党も加わってパッシングし、謝罪させるという、およそ科学ではありえない事態になっています。

人間には放射能を消す力がありません。自然にもありません。自分に力がないからと言って、放射能の始末を自然にゆだねることははじめから間違っています。放射性物質はそれぞれ固有の寿命を持っており、時間がたてば減っていきます。そのため、できる限り閉じ込めるというのが人間にできる最善の策です。トリチウムの半減期は二・三年です。半減期の一〇倍閉じ込めておけるなら、放射能の量は一〇〇

倍含まれており、「ALPS処理水」はれっきとした「放射能汚染水」を海に捨てなくても済む現実的な方策は山ほどあります。

佐藤 東京電力は二〇一八年まで、「汚染水はALPSで処理すればトリチウム以外は基準値以下にできる」と明言していました。しかし、二〇一八年当時、「処理水」の八割以上で、基準値を上回るトリチウム以外の放射性物質が検出されておりました。それを東京電力は意図的に隠していました。住民側の指摘がこの事実が発覚したわけでは

ありません。自然にもありません。自分に力がないからと言って、放射能の始末を自然にゆだねることははじめから間違っています。放射性物質はそれぞれ固有の寿命を持っており、時間がたてば減っていきます。そのため、できる限り閉じ込めるというのが人間にできる最善の策です。トリチウムの半減期は二・三年です。半減期の一〇倍閉じ込めておけるなら、放射能の量は一〇〇

倍含まれており、「ALPS処理水」はれっきとした「放射能汚染水」を海に捨てなくても済む現実的な方策は山ほどあります。

佐藤 東京電力は二〇一八年まで、「汚染水はALPSで処理すればトリチウム以外は基準値以下にできる」と明言していました。しかし、二〇一八年当時、「処理水」の八割以上で、基準値を上回るトリチウム以外の放射性物質が検出されておりました。それを東京電力は意図的に隠していました。住民側の指摘がこの事実が発覚したわけでは

ありません。自然にもありません。自分に力がないからと言って、放射能の始末を自然にゆだねることははじめから間違っています。放射性物質はそれぞれ固有の寿命を持っており、時間がたてば減っていきます。そのため、できる限り閉じ込めるというのが人間にできる最善の策です。トリチウムの半減期は二・三年です。半減期の一〇倍閉じ込めておけるなら、放射能の量は一〇〇

倍含まれており、「ALPS処理水」はれっきとした「放射能汚染水」を海に捨てなくても済む現実的な方策は山ほどあります。

佐藤 東京電力は二〇一八年まで、「汚染水はALPSで処理すればトリチウム以外は基準値以下にできる」と明言していました。しかし、二〇一八年当時、「処理水」の八割以上で、基準値を上回るトリチウム以外の放射性物質が検出されておりました。それを東京電力は意図的に隠していました。住民側の指摘がこの事実が発覚したわけでは

ありません。自然にもありません。自分に力がないからと言って、放射能の始末を自然にゆだねることははじめから間違っています。放射性物質はそれぞれ固有の寿命を持っており、時間がたてば減っていきます。そのため、できる限り閉じ込めるというのが人間にできる最善の策です。トリチウムの半減期は二・三年です。半減期の一〇倍閉じ込めておけるなら、放射能の量は一〇〇

倍含まれており、「ALPS処理水」はれっきとした「放射能汚染水」を海に捨てなくても済む現実的な方策は山ほどあります。

佐藤 東京電力は二〇一八年まで、「汚染水はALPSで処理すればトリチウム以外は基準値以下にできる」と明言していました。しかし、二〇一八年当時、「処理水」の八割以上で、基準値を上回るトリチウム以外の放射性物質が検出されておりました。それを東京電力は意図的に隠していました。住民側の指摘がこの事実が発覚したわけでは

ありません。自然にもありません。自分に力がないからと言って、放射能の始末を自然にゆだねることははじめから間違っています。放射性物質はそれぞれ固有の寿命を持っており、時間がたてば減っていきます。そのため、できる限り閉じ込めるというのが人間にできる最善の策です。トリチウムの半減期は二・三年です。半減期の一〇倍閉じ込めておけるなら、放射能の量は一〇〇

倍含まれており、「ALPS処理水」はれっきとした「放射能汚染水」を海に捨てなくても済む現実的な方策は山ほどあります。



『東京新聞 TOKYO Web』2023年8月22日より

東京電力福島第一原発事故で生じた汚染水を「浄化」したとされる水の海洋放出が八月から始まった(第一回は九月一日まで)。その第二回目が一〇月五日から実施されている。果たして、汚染水放出には本当に問題はないのか。また、危険性は一切ないのか。元京都大学原子炉実験所助教で原子力廃絶の研究をつづけている小出裕章氏にお話をうかがった。聞き手は筑波大学准教授の佐藤嘉幸氏にお願いした。(編集部)

科学ではありえない事態

佐藤 東京電力は、八質が基準値を超えて残存月三四日に福島第一原発から、いままですタンクに貯蔵していた「ALPS処理水」の海洋投棄を開始しました。しかし、「ALPS処理水」は実際には、いまだ放射性物

質が基準値を超えて残存する汚染水です。トリチウム以外は基準値以下まで処理するという東京電力の方針が示されている。とはいえ、汚染水を海洋投棄するという行為について、どのように考えら

るのか。小出 ます確認したいのですが、国と東京電力は今、福島原発に溜まっている一三〇万トンを超える水を「ALPS処理水」と「処理途上水」の二つに分けています。このうち「処理途上水」は全体の約七割を占めており、文字通りまだ処理が終わっていない、れっきとした「放射能汚染水」です。それを日本ではマスコミが率先して「処理水」と呼んできました。本来なら国がマスコミの暴走をいさめるべきでしたが、国はむしろマスコミの暴走を許してきました。そのうえ、「汚染水」と正しく呼んだ野村農林水産大臣をマスコミと

国、それに野党も加わってパッシングし、謝罪させるという、およそ科学ではありえない事態になっています。人間には放射能を消す力がありません。自然にもありません。自分に力がないからと言って、放射能の始末を自然にゆだねることははじめから間違っています。放射性物質はそれぞれ固有の寿命を持っており、時間がたてば減っていきます。そのため、できる限り閉じ込めるというのが人間にできる最善の策です。トリチウムの半減期は二・三年です。半減期の一〇倍閉じ込めておけるなら、放射能の量は一〇〇

捕捉できないままの放射性物質

佐藤 私には「ALPS処理水」という名称そのものが、露骨なイデオロギー的操作に見えます。「アルプスの水」のような清浄な水の印象を与えますが、実際には炉心溶融した放射性物質に地下水が流入した汚染水をフィルター処理しただけ。ALPS (Advanced Liquid Processing System、直訳すれば「高度液体処理システム」という言葉自体、東電の和訳「多核種除去設備」(英語に反訳すれば、multi-nuclide removal system)とはかけ離れています。浄化された水のように思わせる印象操作でしかありません。

小出 ご指摘の通りです。水処理とは、水の中に含まれている汚染物質を捕捉して取り除く技術です。しかし、先に述べたように、福島原発に溜まっている放射能汚染水は、猛烈な濃度であるた

め、大変な被曝源になっています。それが敷地の中にあるため、敷地境界を越えて、国の基準値を超える放射線が飛び出し、地下水が流れ込んでくるなどというこははじめから論外です。でも、二〇一一年三月一日の東北地方太平洋沖地震によって福島原発の原子炉建屋地下が破壊され、大量の地下水が流れ込んでくることになってしまいました。原子炉建屋の中には、熔け落ちた炉心が存在しており、地下水がそれと接触すれば汚染水になってしまふことは当然です。そのため私は、事故直後の二〇一一年五月から、地下に遮水壁を作るといった計画でした。私は、地下水の流れは複雑で、一か所を凍らせれば別の場所へ流れていくので、全体を凍らせることなどできないと発言しました。そのうえ、四六

夢のまた夢です。

終わりに、地下に打ち込んだパイプが破損したり、詰まったりすれば壁が維持できなくなります。過去に経験のない壁だったため、国は、その壁の建設は実験だとして、国費で建設することにしました。国費とは私たちの税金のことです。もしその壁ができていなければ、もう汚染水問題は解決しているはずですが、原子炉建屋への地下水の流入は

いまだに止まりません。

私は、今からでも地下にきちんとした遮水壁を作るべきだと言っています。それができなければ、今後地下水の流入は止まらないでしょう。熔け落ちた炉心は、炉心を格納していた原子炉圧力容器を熔かし、周辺のコンクリートも熔かし、それらと混然一体となったデブリと呼ばれる塊になっています。原子炉建屋の中にあるそのデブリをつかみ出せれば、汚染水の増加は防げますが、デブリの取り出しなど、

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

夢のまた夢です。

Advertisement for Toshocard NEXT, including contact information and a logo.

